

医療手話コミュニケーション

責任者・コーディネーター	病態薬理学講座分子細胞薬理学分野 奈良場 博昭 教授		
担当講座・学科(分野)	病態薬理学講座分子細胞薬理学分野、臨床薬学講座地域医療薬理学分野		
対象学年	4・5	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	実習 16 時間 (8 コマ)
期 間	後期		
単 位 数	0.5 単位		

・学習方針（講義概要等）

薬学臨床を学んでいる 4、5 年生が障害者への対応の重要性を理解することで、薬剤師の役割を再認識することができる。特にこの科目では、聴覚障害者への対応を手話を用いて実践的に行うことにより、ろう者への理解を深め、コミュニケーションツールとしての手話の重要性を学んでいく。

・教育成果（アウトカム）

医療従事者として聴覚障害者への対応は重要となってきた。薬剤師として、聴覚に障害のある患者とのコミュニケーションや服薬指導等において、基本的な手話は重要なツールである。将来、医療現場において活躍する薬剤師として、学生時代から手話などの重要性を理解し、それを身につける体験をすることで、障害者に対応する生涯教育の重要性を知ることができる。

(ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,)

・到達目標（SBO）

1. 聴覚障害の特徴（聴力、コミュニケーション、教育など）を説明できる。（☆）
2. 障害者権利条約（手話言語条例など）を概説できる。（☆）
3. 聴覚障害ならではの体験などを説明できる。（☆）
4. 手話の習得に関して主体的に取り組む態度を有し、障害者を含む多様性に関して理解を示すことができる。
5. 障害者を含む社会づくりに向けた態度を有し、必要な制度・条例等に関する提案を行うことができる。
6. 手話で自己紹介（名前や挨拶）をすることができる。（☆）
7. 全日本ろうあ連盟の医療手話の本から単語を表すことができる。（☆）
8. 間違いやすい医療用語を列挙できる。（☆）
9. 患者役（ろう者）と対話できる。（☆）
10. 医療現場を想定して手話で自己紹介できる。（☆）
11. 日常会話レベルを手話で実施できる。（☆）
12. 患者との会話の中で出てきた用語を説明できる。（☆）
13. 症状確認など問いかけができる。（☆）
14. 症状の手話表現が実施できる。（☆）
15. 一般的な医薬品の服薬指導を実施できる。（☆）
16. 主に内服薬や外用薬について手話で説明できる。（☆）
17. お薬の説明書を使用しながら手話で説明できる。（☆）
18. 入院患者（臨床）への服薬指導を想定して実施できる。（☆）
19. 主に点滴や注射薬について手話で説明できる。（☆）
20. 門前薬局、ドラッグストア、臨床現場などいくつか場面を設定して手話を実技で実施できる。（☆）

・実習日程

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
3/2	火	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	聴覚障害者について学ぶ【講義・実演】 学生からの Q&A を受け付ける。 1. 聴覚障害の特徴（聴力、コミュニケーション、教育など）を説明できる。 2. 障害者権利条約（手話言語条例など）を概説できる。 3. 聴覚障害ならではのの実体験などを説明できる。 4. 手話の習得に関して主体的に取り組む態度を有し、障害者を含む多様性に関して理解を示すことができる。 5. 障害者を含む社会づくりに向けた態度を有し、必要な制度・条例等に関する提案を行うことができる。 事前学修：障害者権利条約に関して調べておく。 事後学修：授業資料を復習しておく。
3/2	火	4	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	医療現場での聴覚障害者の状況について学ぶ【実技】 手話しか使用できない薬局を体験することで疑似体験を行う。 1. 手話で自己紹介（名前や挨拶）をすることができる。 事前学修：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学修：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/4	木	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	手話学習 医療現場で使われる言葉【実技】 1. 全日本ろうあ連盟の医療手話の本から単語を表すことができる。 2. 間違いやすい医療用語を列挙できる。 事前学修：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学修：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/4	木	4	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	手話学習 患者面接【実技】 1. 患者役（ろう者）と対話できる。

					2. 医療現場を想定して手話で自己紹介できる。 3. 日常会話レベルを手話で実施できる。 4. 患者との会話の中で出てきた用語を説明できる。 事前学修：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学修：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/9	火	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	手話学習 症状確認（問診）【実技】 1. 「あなたの症状を教えてください」「どこか違和感ありますか」など手話で問いかけができる。 2. 症状の手話表現が実施できる。 3. 患者役（ろう者）に対して自己紹介と症状確認までを連続で行うことができる。 事前学修：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学修：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/9	火	4	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	手話学習 服薬指導①（内服薬・外用薬編）【実技】 1. 一般的な医薬品の服薬指導を実施できる。 2. 主に内服薬や外用薬について手話で説明できる。 3. お薬の説明書を使用しながら手話で説明できる。 4. 専門用語については、紙を見せながら伝えることができる。 事前学修：教科書の該当部分を予習しておく。 事後学修：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/12	金	2	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	手話学習 服薬指導②（臨床編）【実技】 1. 入院患者（臨床）への服薬指導を想定して実施できる。 2. 主に点滴や注射薬について手話で説明できる。 3. 専門用語については、紙を見せながら伝えることができる。 事前学修：教科書の該当部分を予習しておく。

					事後学修：授業で学んだ手話の実技を復習しておく。
3/15	月	3	岩手県聴覚障害者協会 分子細胞薬理学分野 地域医療薬学分野	高橋 健一 講師 奈良場 博昭 教授 松浦 誠 教授	発表【実技】 1. 門前薬局、ドラッグストア、臨床現場などいくつか場面を設定して手話を実技で実施できる。 事前学修：発表会に備えて手話の実技を練習しておく。 事後学修：発表会の反省点を復習しておく。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	医療の手話シリーズ①「手話で必見！医療のすべて＜外来編＞」	高橋 英孝（監修）	全日本ろうあ連盟 出版局	2006

・成績評価方法

実習態度（50％）および実技発表（50％）から評価する。なお、実習態度には、実習中に講師により行われる口頭試問を含み、障害への理解および障害者を取り巻く環境等に関する知識の評価を含む。

・特記事項・その他

・当該科目に関連する実務経験の有無 有
岩手県聴覚障害者協会の手話通訳士が実践的な教育を実施する。
この科目では、手話の実技を学びます。授業後に十分に手話の実技を復習することが重要です。事前学修は1コマに対して20分、事後学修は30分を要する。また、医療手話は、この科目のみで実践的に使いこなすことはできませんが、今後、皆さんが、手話コミュニケーションに興味を持ち、学び続けることが大切であると思います。この科目を履修することで、医療人として、障害者に対応することの必要性を認識し、生涯にわたり学び続けてくれることを期待しています。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	iPad (Apple)	1	スライド投影のため